

市町村名		浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-7 沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	都市建設部	美らまち推進課	事業実施 年度	平成 24	令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	観光地としての魅力向上や地域住民等が地元の歴史や文化に対する興味を深めるため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生を図る事業。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H24～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計		
	A. 予算現額	203,832	14,868	20,566	7,690	246,956		
	B. 執行済額	171,772	14,859	19,979	7,688	214,298		
	うち 交付金充当額	137,417	11,887	15,983	6,150	171,437		
	執行率(%) (B/A)	84.3%	99.9%	97.1%	100.0%	86.8%		
執行状況の説明	当初計画していた事業実施内容のほか、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	①風景づくり推進調査業務の完了	目標	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
		実績	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
	②補助(工事)完了 まちなみ景観を修景するための支援	目標	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
		実績	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区	
③地域景観資源を保全、活用、創造する自主 的なまちづくり活動団体等への支援	目標	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体		
	実績	3団体	3団体	3団体	2団体	2団体		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	①風景づくり推進調査業務の完了	目標	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績	完了	完了	完了	完了	完了	
	②まちなみ景観を修景するための支援	目標	-	-	15件	33件	6件	
		実績	12件	7件	17件	27件	12件	
③地域の歴史や文化に対する興味わいた か(80%以上)を含め、参加者に対するアン ケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	-	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上		
	実績	-	80%	88%	100%	70%		

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R13年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	地域ごとの景観施策、景観まちづくり計画改定版及びまちなみ景観を修景するための支援(助成)を基に、景観形成の規制・誘導を行うことで、沖縄らしい美しいまちなみ景観形成の推進につなげる	目標	景観形成推進につなげる	景観形成推進につなげる	景観形成推進につなげる	景観形成推進につなげる
		実績	景観形成推進につなげた	-	-	-
		目標				
	実績					
状況説明	【R4年度】 ・地域ごとの景観施策について、規制・誘導を行い景観の推進を図るよう行為の届出等審査を実施する。 【R3年度】 ・景観まちづくり計画改定に向けての検討・まとめを実施し、R4.4.1に告示し施行開始となった。また、地域ごとの景観施策及び景観を修景するための支援(助成)を基に、景観形成の規制・誘導を行うことができた。 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・地域において、景観まちづくり計画等の基準を基に、景観の変容を確認できた。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・		【R3年度】 ・引き続き地域ごとの景観施策について、規制・誘導を行い景観の推進を図るよう行為の届出等審査を実施する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R4年度】 ・HPを活用しながら、浦添市景観まちづくり計画内容を周知していく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-(オ) 駐留軍用地跡地利用推進についての協議	
担当部課名	西部開発局	跡地未来課	事業実施年度	平成24 ~ 令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8	
事業内容	牧港補給地区の地権者等が自立し、跡地利用が円滑に進められるよう、地権者等が主体となったまちづくり活動(勉強会やまちづくりニュースの発行等)を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	2,000	2,000	2,992	2,500	9,492	
	B. 執行済額	1,890	1,870	2,794	2,409	8,963	
	うち 交付金充当額	1,512	1,496	2,235	1,927	7,170	
	執行率(%) (B/A)	94.5%	93.5%	93.4%	96.4%	94.4%	
執行状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標及び成果目標の達成状況に鑑みて、適正であったと考えている。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	牧港補給地区地主会若手組織による勉強会等の活動支援	目標	4回	4回	3回	4回	3回
		実績	4回	4回	3回	3回	3回
	活動情報発信	目標	1回	1回	1回	1回	1回
		実績	1回	1回	1回	1回	1回
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	80%	80%	80%	80%	80%
		実績	87%	83%	83%	88%	86%
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	○年度	○年度 目標/発現年度
地権者(チームまきほ21)の跡地利用の意見を提言としてまとめ、浦添市で策定する牧港補給地区跡地利用計画へ地権者の提言として反映する。 跡地利用計画の策定 ※R3～R5	目標	提言書の策定・提出	跡地利用計画案の策定	跡地利用計画の策定	—	—
	実績	提言書の策定・提出			—	—
	目標	跡地利用計画の発注	跡地利用計画案の策定	跡地利用計画の策定	—	—
	実績	跡地利用計画の発注			—	—
状況説明	【R3年度】 ・牧港補給地区跡地利用計画に対するチームまきほ21の提言を取りまとめ、市長への手交を実施 【R4年度】 ・チームまきほ21より牧港補給地区跡地利用に関する準備協議会・跡地利用審議会の委員選出 ・協議会において牧港補給地区跡地利用に関する意見の提案 ・牧港補給地区跡地利用計画(案)の策定 【R5年度】 ・牧港補給地区跡地利用計画の策定					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R3年度】 ・R3年度は他市町村の跡地利用事例について勉強会を開催。また、跡地利用計画へ地主からの提言を反映する為の提言書を策定。			令和3年度以降も勉強会等の支援を行いつつ、習得した知見を活かすための先進地(県外等)視察を実施する。 併せて、牧港補給地区跡地利用計画に地権者の提言が反映されるよう、各種会議においてもまきほ21と連携しながら取り組む。			
【R4年度】 ・令和4年度も浦添市が主体となった勉強会の開催やこれまでのフィードバックを行うことで、行政との信頼関係の醸成を図り、地権者が主体となったまちづくりを目指す。また、並行して牧港補給地区跡地利用計画の策定に取り組んでいることから、跡地利用の協議会等へまきほ21よりメンバーが選出されるよう働きかける。						
【R5年度】 ・地権者からの提言を反映した跡地利用計画(案)を基に、地権者・市民への説明会を開催する。また、ホームページ等によるパブリックコメントを行い、より地権者・市民が主体となったまちづくり計画の策定を目指す。						

市町村名	浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	デジタル教科書導入事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
担当部課名	指導部	学校教育課	事業実施年度	令和2年度 ~ 令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	市内小・中学校へ、指導者用デジタル教科書を導入し、ICT環境を整備する						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～○年度	○年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額			21,179	6,232	27,411	
	B. 執行済額			20,121	5,930	26,051	
	うち 交付金充当額			16,096	4,744	20,840	
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	95.0%	95.2%	95.0%	
執行状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は小学校、令和3年度は中学校への指導者用デジタル教科書購入を行った。 最終的な執行率は95%であり、概ね計画的に執行できた。 					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			○年度	○年度	○年度	R2年度	R3年度
	全小中学校に、指導書には含まれない指導者用デジタル教科書を導入。	目標				小学校 11校	中学校 5校
		実績				小学校 11校	中学校 5校
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			○年度	○年度	○年度	R2年度	R3年度
	指導者用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童生徒の割合80%以上	目標				80%	80%
		実績				91%	92%
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	指導者用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童生徒の割合80%以上	目標	80%	80%	80%	80%
		実績	91.5%			
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【3年度】 ・前年度にデジタル教科書を購入したことで、授業において日常的に活用されている。</p> <p>【4年度】 ・小中学校における状況把握を行う</p> <p>【 年度】 ・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【3年度】 ・児童一人ひとりにタブレットが支給されたことで、授業でのICT活用が進んでいる</p> <p>・電子黒板を活用した指導者用デジタル教科書と児童生徒用の一人一台端末等その他のICT機器と組み合わせることで活用促進が期待される</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【3年度】 ・デジタル教科書全小中学校に導入完了後の児童生徒アンケートを継続して実施していく必要がある。</p> <p>・授業でのICT活用が進む中電子黒板の機器更新を行うことで、デジタル教科書の活用促進を図る必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【4年度】 ・小学校、中学校ともに教科書改訂に合わせてICT環境を整えた事業計画を立てていく</p> <p>・GIGAスクール構想との関連を確認しながら取り組みを進めていく</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						

市町村名		沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】					
事業名	浦添市来々来推進事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖繩観光ブランドの確立		
担当部課名	都市建設部	都市計画課	事業実施 年度	平成 24	令和 1	年度 沖繩振興基本方針 該当箇所	
事業内容	市既存の観光資源の活用及び新たな観光資源を創出に向けた各種施策の実施につなげるため、課題抽出及び取組施策に向けた調査を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	8,047	8,100	6,100	2,600	24,847	
	B. 執行済額	7,560	7,279	6,080	2,365	23,284	
	うち 交付金充当額	6,048	5,823	4,864	1,892	18,627	
	執行率(%) (B/A)	93.9%	89.9%	99.7%	91.0%	93.7%	
執行状況の説明	当初計画していた事業実施内容のほか、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	【屋富祖・オリオン通り周辺地区】 ・まちづくり協議会開催 ・屋富祖通り周辺地区土地活用調査等	目標	基本構想策定	基本計画案作成	協議会(2回) 説明会実施 施策検討	協議会(2回) 説明会実施 施策検討	協議会(2回) 施策検討
		実績	基本構想策定	基本計画案作成	協議会2回実施 説明会実施 施策検討実施	協議会2回実施 説明会実施 施策検討実施	協議会2回実施 施策検討実施
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	屋富祖・オリオン通り周辺地区における「まちづくり基本計画の実現に向けた施策(案)」の完成	目標	基本計画案作成	基本計画の策定	施策案の作成	施策案の作成	
		実績	基本計画案作成	基本計画の策定	土地利用基本計画 構成図の作成	施策案の作成	
	【R2成果目標】 地区ごとのまちづくり基本計画(施策案)を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	目標					事業の実施につなげる
		実績					事業化には至っていない
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度
							○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	地区ごとのまちづくり基本計画(施策案)を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	目標	事業の実施につなげる				
		実績	事業化には至っていない				
		目標					
		実績					
状況説明	【R3年度】 ・基本計画(施策案)の実現に向け、道路管理者である沖縄県と意見交換会を1度実施。 ・基本計画(施策案)の実現に向け、地元自治会と意見交換会を1度実施。 ・基本計画(施策案)の実現に向け、沖縄県及び地元自治会と三者での意見交換会を1度実施。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

【R3年度】 ・まちづくり協議会、通り会及び地元自治会と継続的に話し合いを行っており、事業者も含め、具体的なまちづくりの実現に向けた実施方法について、意見交換を重ねている。 【 年度】 ・	【R3年度】 ・今後は基本計画(施策案)の実現に向け、継続的かつ定期的に話し合いの場が持てるように検討する。 【 年度】 ・
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

当該事業は、平成30年度に作成した「まちづくり基本計画【施策案】」をもって、事業の目標は達成できたものと評価している。これを基に、今後は都市計画変更に向けた検討や地元及び事業者と話し合いを進めていきたい。

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	浦添市観光振興計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名	市民部経済文化局	観光振興課	事業実施年度	平成28 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	6,987	13,986	-	-	20,973	
	B. 執行済額	6,987	13,986	-	-	20,973	
	うち 交付金充当額	5,590	11,188	-	-	16,778	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	
執行状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施したほか、活動目標及び成果目標の達成状況に鑑みて適正であった。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光振興計画策定に向けた調査業務	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
	観光振興計画策定に向けた支援業務	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
観光振興計画の策定	目標	-	策定	-	-	-	
	実績	-	策定	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	調査・支援業務報告書の完了	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
	観光振興計画の策定完了	目標	-	完了	-	-	-
		実績	-	完了	-	-	-
目標							
実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	
	事業完了後の成果目標	浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	目標	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	つなげた
状況説明		目標					
		実績					
	【R1年度】 ・浦添市観光振興計画の進捗管理として、関連施策の担当部署に進捗評価をしてもらい、取りまとめた。 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて進捗状況の確認を行い、今後の施策に対しての意見を聴取した。						
	【R2年度】 ・関連施策の担当部署からの進捗評価を取りまとめ、「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて進捗状況を説明し、今後の施策への意見を聴取した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が激減し、有効な指標検証ができないことが想定されたため、計画の中間見直し、見直しのための実態調査について、実施を見送った。						
	【R3年度】 ・今後の復興計画の見直しにかかる検討に時間を要したことから、「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」は開催できなかったが、有識者からの意見聴取を行い、今後の計画見直しの方向性を確認した。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて行った進捗評価をもとに各施策の評価を行い、関連部署との連携を図った。 ・大型商業施設の開業やモノレール新駅開業など観光客の増加がみられる環境の変化もあったが、新型コロナウイルスの影響から観光へ甚大な影響を被る可能性がある。			【R1年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて行った進捗評価を施策の担当部署にフィードバックすることで、更なる事業の推進を図る。 ・新型コロナウイルスの影響で観光産業が全体的に下火になる中、計画及び各施策についても見直しを図る必要がある。				
【R2年度】 ・「地域の歴史・文化・芸能の保存・活用」、「官民による観光まちづくり推進体制の構築」については、ほとんどの施策で「概ね進行している」との評価を受けた。しかし一部「進行しているとはいえない」との評価も受けた。 ・「施設を核とした賑わいの創出」「来訪者及び市民にも訴求する浦添市の情報発信の強化」「受け入れ施設の整備・充実」について、「概ね進行している」との評価を受けた。 ・「マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり」については、「進行しているとはいえない」との評価を受けた。			【R2年度】 ・「一部進行しているとはいえない」と評価された施策は「修学旅行への取り組み」「イベントの充実」で、その理由は新型コロナウイルス感染症の影響から実施が中止・延期されたことである。県内の感染状況を把握し、対策を徹底した安心・安全な実施方法を模索して改善していく。また、「店舗の魅力化」では、事業者が市の実施事業や計画を把握できていないことが多かったため、効果的な周知方法を検討・実施していく。 ・「概ね進行している」と評価された施策についても、「施設を核とした賑わいの創出」では、既存施設のさらなる賑わい創出の工夫・改善に取り組む。また、「マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり」では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、正確な調査結果が得られない可能性があったため、市場調査を令和3年度に延期した。観光客の実態やニーズを正確に把握するため、新型コロナウイルス感染症の影響を加味したマーケティング調査を行う。				
【R3年度】 ・R2年度に復興計画の策定を浦添市観光振興審議会内にて協議を行ったことから、各事業の推進に関しても見直しが必要となった。 ・各事業の見直しを含め復興計画の検討を行い、オンライン等を活用した観光誘客、非接触型での観光誘客などの推進を図った。			【R3年度】 ・未だ終息のみえない新型コロナウイルス感染症の影響から「浦添市観光振興計画」の抜本的な見直しを図る必要がある。 ・計画策定時には想定していなかった事態を踏まえ、推進していく事業や目指す姿を改めて検討を行う必要がある。また、より効果的な計画とするためには、「第6次沖縄県観光振興基本計画」や、「第五次浦添市総合計画」との整合性を担保したものとする必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・令和2年度の計画中間見直しへ向けて、指標検証のための調査方法を更に精査する。 ・新型コロナウイルスの影響を把握しながら、新たな時代を見据えた計画の見直しを検討する。							
【R2年度】 ・新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、観光支援・復興計画の策定、観光振興計画の見直しに取り組み、安全安心な観光地整備、非来訪型のためのオンラインコンテンツの開発等、withコロナ、afterコロナ時代の観光振興に取り組んでいく。 ・今まで収集したデータや調査結果を活用し、本市観光の現状、来訪観光客のニーズを反映させた後期観光振興計画を策定してデータに基づいた観光施策を推進していく。							
【R3年度】 ・日々目まぐるしく変わる感染状況の状況を注視しながら、既存の観光振興計画の抜本的な見直しを図る。 ・R3年度には、「浦添市観光振興審議会・専門部会」が開催できなかったため、R4年度には、審議会及び専門部会を開催し、有識者のご意見を踏まえた計画の見直しを図る。							

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	地域資源復元推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	教育部	文化財課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進し歴史・文化の継承を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート of 環境整備や民俗文化財の説明板の設置を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	合計	
	A. 予算現額	161,316	1,800	11,626	17,280	192,022	
	B. 執行済額	149,022	1,733	10,652	13,438	174,845	
	うち 交付金充当額	119,118	1,390	8,521	10,750	139,779	
	執行率(%) (B/A)	92.4%	96.3%	91.6%	77.8%	91.1%	
執行状況の説明	琉球王朝時代の宿道、中頭方西海道ルートの石畳舗装約680m、地域の歴史資源である安波茶樋川、クバサーヌ御嶽、仲間地区の地頭火ヌ神を整備し、説明版及び看板を合計9カ所設置した。設計及び施工における見直しや入札差金等もあり当初事業費の91%を執行している。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	尚寧の道を尋ねる 地域散策	目標	—	215人	234人	253人	272人
		実績	241人	146人	123人	99人	132人
		目標					
実績							
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H24年度 ~ H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	中頭方西海道ルート石畳舗装工事 看板、説明版の設置	目標	実施設計の完了・工事実施460m	工事実施130m、説明版1基			実施設計の完了・工事実施90m
		実績	設計・工事の完了 看板8基設置	工事の完了 説明版設置			設計・工事の完了
	安波茶樋川復元整備工事 クバサーの御嶽復元整備工事	目標	用地買収 物件保証 設計・施工				
実績		用地買収 物件保証 設計・施工					
仲間火ヌ神復元整備工事	目標			実施設計	整備工事		
	実績			実施設計完了	整備工事完了		

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 目標/発現年度
	イベント開催(尚率の道をたずねる、地域散策)等	目標	215人	234人	253人	272人
	実績	146人	123人	99人	132人	—
状況説明	目標					
	実績					
	<p>【令和1年度】 ・新型コロナウイルスの影響により募集人数等を制限し実施した。目標値の52%の達成率</p> <p>【令和2年度】 ・新型コロナウイルスの影響により募集人数や活動の幅を制限し実施した。地域散策は中止。目標値の39%の達成率</p> <p>【令和3年度】 ・新型コロナウイルスの影響により募集人数や活動の幅を制限し実施した。49%の達成率</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【令和1年度】 ・コロナウィルス蔓延のため地域資源を利用したイベントの募集人数を縮小したり、イベント自体の縮小を行ったため参加人数が前年度より大幅に減少した。</p> <p>【令和2年度】 ・コロナウィルス蔓延のため地域資源を利用したイベントを縮小したり、地域散策を中止したため参加人数が前年度より減少した。</p> <p>【令和3年度】 ・コロナウィルス蔓延のためイベント参加者が減少した影響や「うらおそい歴史ガイド友の会」のする</p>	<p>【令和1年度】 ・Webを利用した地域資源の紹介等を模索する。</p> <p>【令和2年度】 ・社会情勢により企画が実施できない場合を考え、分割開催を検討する。</p> <p>【令和3年度】 ・地域資源を活用した歴史ガイド友の会を活性化させるため、歴史ガイド養成講座を再度企画し若い世代の会員を育成する。ホームページ等の誘致や日本遺産とコラボしたイベントも企画する。</p>
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【令和4年度】 ・今後コロナ下で開催されるイベントは縮小されることも多くなるため、それに代わる地域散策や学校教育現場での活用の模索、ウォーキングイベントでの活用の奨励も考える。減少した観光客等の誘致も積極的に行う。</p> <p>【令和5年度】 ・宿道を活用した近隣市町村とタイアップしたイベントや日本遺産を含めたイベント等を企画し誘客に努める。</p> <p>【令和6年度】 ・</p>

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ 臨港・臨空型産業の集積による国際物流拠点の形成	
担当部課名	企画部 西部開発局	西海岸開発課	事業実施 年度	平成 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(3)	
事業内容	離島航路の維持・改善及び離島振興に向けて、排出ガス削減、騒音抑制など良好な港湾環境の改善を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備した。 【施設概要】高圧受変電設備:3箇所(電源供給対象船舶)フェリーとかしき、フェリーざまみ、粟国フェリー 電圧:6600V 全出力:350kW 屋外型						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	4,342				4,342	
	B. 執行済額	4,222				4,222	
	うち 交付金充当額	3,377			4	3,381	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2%	
執行状況の説明	当該施設を利用する各船社との協議を踏まえ、受電設備の仕様を見直したことにより、不測の日数を要した。また、当該施設の配置検討において関係者との調整に不測の日数を要したことから、12,264千円をH29年度に繰り越した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設の実施設計並びに整備工事の実施	目標	実施				
		実績	実施				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	陸上電力供給施設整備 3基	目標	実施				
		実績	実施				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度	
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	目標	—	—	—	アンケート結果「快適な環境が確保されている」(80%以上)	
	実績	未実施	未実施	未実施	83.0%	
	目標					
	実績					
事業完了後の成果目標 状況説明	【H29年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。					
	【H30年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。					
	【R1年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。					
	【R2年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。					
	【R3年度】 ・各船舶運航時行者へヒアリングを行った。陸電施設については、供給電圧の見直しや供給コンセントの増設の要望が有り、施設の改善要望が確認された。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【H29年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては、事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。			【H29年度】 ・観光客を受け入れる港として快適な環境づくりを実現するためには、本事業に加えて、屋根付き歩道の整備や、多言語標識の整備等により観光客の更なる満足度向上を図る必要があることから、アンケートの内容、実施時期について今後検討を行う必要がある。			
【H30年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は引き続き増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。			【H30年度】 ・泊ふ頭を利用する観光客の満足度向上に向けて、次年度以降、屋根付き歩道や多言語標識の整備を行うための事前準備を進めるとともに、アンケートの内容、実施時期について検討を行う。			
【R1年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。			【R1年度】 ・泊ふ頭において引き続き屋根付き歩道や多言語標識の整備を進めるとともに、令和2年度中のアンケート実施に向けて関係者と調整を行う。			
【R2年度】 ・当該年度における対象船舶を利用する乗降客は新型コロナウイルス感染症の影響等により昨年度より減少した。 ・利用者より、当該施設の電圧が低く、安定供給のための改善要望がある。			【R2年度】 ・泊ふ頭においては、引き続き、屋根付き歩道等の整備を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、安全で快適な環境づくりに向けて検討する。 ・電圧調整の要望事項について、当該施設の調整の可否及び適切な電圧を確認の上、施設利用の改善を行う。			
【R3年度】 ・当該年度における対象船舶を利用する乗降客は新型コロナウイルス感染症の影響等により昨年度より減少した。 ・利用者より、当該施設の電圧が低く、安定供給のための改善要望がある。また、供給コンセントの増設要望がある。			【R3年度】 ・泊ふ頭においては、引き続き、屋根付き歩道等の整備を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、安全で快適な環境づくりに向けて検討する。 ・電圧調整等の要望事項について、当該施設の適切な電圧、利用形態を再確認の上、施設利用の改善を行う。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H29年度】 ・船舶運航事業者へ向けて実施するアンケートの内容及び実施方法について検討を行う。						
【H30年度】 ・屋根付き歩道の整備や多言語標識の整備に向けた準備を進め、泊ふ頭地区における観光客の更なる満足度向上を図る。						
【R1年度】 ・令和2年度中のアンケート実施に向けて、関係者との調整を実施する。						
【R2年度】 ・屋根付き歩道等の整備や新型コロナウイルス感染対策を引き続き実施する。 ・令和3年度中のアンケート実施(利便性や燃料費のコスト削減効果等)に向けて、関係機関と調整を進める。 ・要望のある当該施設の電圧調整について、調整の可否及び適切な電圧を確認の上、当該施設の利便性向上を図る。						
【R3年度】 ・屋根付き歩道等の整備や新型コロナウイルス感染対策を引き続き実施する。 ・要望のある当該施設の電圧調整やコンセント増設について、適切な電圧、利用形態を再確認の上、当該施設の利便性向上を図る。						

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア 臨港・臨空型産業の集積による国際物流拠点の形成	
担当部課名	企画部 西部開発局	西海岸開発課	事業実施年度	平成 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(3)	
事業内容	<p>新港ふ頭の国際コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応するため、さらなる増設を行い、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【施設概要】 リーファー電源 440V (2段×10口、1段×2口、計22口)</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	6,606				6,606	
	B. 執行済額	5,593				5,593	
	うち 交付金充当額	4,474				4,474	
	執行率(%) (B/A)	84.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.7%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・リーファー電源の設置箇所の選定に伴う調整に不測の時間を要したことから、19,819千円をH29年度に繰越した。 ・当初は、既存の電気室を増築し、リーファー電源の増設を行う予定であったが、既存の電気室の容量が22口分の増設まで対応可能であり、電気室の設計が不用となったため、予算に一部不用が生じた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	リーファー電源及び電気室の実施設計の実施	目標	実施設計の実施				
		実績	実施設計の実施				
	リーファー電源10口設置工事の実施	目標	10口				
		実績	22口				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	リーファー電源及び電気室の実施設計完了	目標	実施設計完了				
		実績	実施設計完了				
	リーファー電源10口設置完了	目標	10口設置完了				
		実績	22口設置完了				
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加	目標	—	—	—	—	76万トン
		実績	70万トン	71万トン	75万トン	78万トン	81万トン (速報値)
状況説明	目標						
	実績						
	<p>【H29年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。</p> <p>【R1年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。</p> <p>【R2年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・利用者より電圧調整(電圧を上げる)の要望があるため仕様変更を検討中。</p> <p>【R3年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量(速報値)は増加している。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H29年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は、順調に推移している。 ・好調な沖縄経済を反映し、「製造食品」等の取扱貨物量が増加していることが一つの要因と考えられる。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターが次年度開業することに伴い、取扱貨物量は今後さらに増加していくものと見られる。</p> <p>【R1年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターが開業した事などが増加の要因と考えられる。</p> <p>【R2年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターがR1年度に開業した事などが増加の要因と考えられる。 ・リーファーコンテナの取扱量が増加したことで、電源プラグの増設要望がある。</p> <p>【R3年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターがR1年度に開業した事などが増加の要因と考えられる。 ・リーファーコンテナの取扱量が増加したことで、電源プラグの増設要望がある。</p>			<p>【H29年度】 ・那覇港総合物流センターの整備を進め、取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリング実施していくとともに、要望のある電源プラグの増設について、国庫補助等を含め、設置に向けた事業化を検討する必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングを実施する。 ・要望のある電源プラグの増設については、現在実施中の事業を活用することも含め、導入に向けた検討を行う必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H29年度】 ・引き続き那覇港総合物流センターの整備をすすめ、集貨・創貨による取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港総合物流センターの開業後は、月に1度モニタリング会議により事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認し、必要に応じて指導・勧告を行う。</p> <p>【R1年度】 ・今後も月に1度のモニタリング会議を継続し、事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認するとともに、必要に応じて指導・勧告を行う。</p> <p>【R2年度】 ・今後も月に1度のモニタリング会議を継続し、事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認するとともに、電源プラグの増設の事業化に向けて検討を行っていく。</p> <p>【R3年度】 ・今後も月に1度のモニタリング会議を継続し、事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認するとともに、電源プラグの増設については、現在実施中の事業を活用することも含め、導入の検討を行っていく。</p>							

市町村名		浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-(7) 沖縄らしい風景づくり			
担当部課名	都市建設部	道路課	事業実施 年度	平成 24	~ 平成 元	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	浦添グスクの麓に位置する仲間地区において、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成(道路景観の創出)を図るため、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~28年度	29年度	30年度	R1年度	合計		
	A. 予算現額	10,000	15,000	5,010	2,958	32,968		
	B. 執行済額	10,000	15,000	5,007	2,958	32,965		
	うち 交付金充当額	8,000	12,000	4,000	2,366	26,366		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%		
執行状況の説明	・最終的な執行率は100.0%となり。概ね計画的に執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	仲間地区主要道路の美化工事 カラーアスファルト舗装	目標	560㎡	450㎡	640㎡	210㎡	134㎡	
		実績	451㎡	429㎡	745㎡	241㎡	134㎡	
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	全体計画 7,246㎡ 平成30年度末時点 7,112㎡整備済 令和元年度末時点 7,246㎡整備済予定	目標	5,806㎡	6,147㎡	6,766㎡	7,081㎡	7,246㎡	
		実績	5,697㎡	6,126㎡	6,871㎡	7,112㎡	7,246㎡	
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	R3年度 目標/発現年度	
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	-	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
実績		未実施	94.8%	97.1%	未実施	81.7%	
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・事業についてのアンケートより、良好な意見は目標値80%以上に対し、94.8%と上回った。</p> <p>【R1年度】 ・事業についてのアンケートより、良好な意見は目標値80%以上に対し、97.1%と上回った。</p> <p>【R2年度】 ・コロナウィルスの影響による、イベントの中止、歴史資料館の来訪客減少のためアンケート未実施。</p> <p>【R3年度】 ・事業についてのアンケートより、良好な意見は目標値80%以上に対し、81.7%と上回った。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【H30年度】 ・アンケート結果からも事業に対して良好な意見が多く、舗装整備により城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成に寄与しているものと考えられる。</p> <p>【R1年度】 ・去年度同様、良好な意見が多く、景観形成に寄与しているものと考えられる。</p> <p>【R2年度】 ・イベント中止、歴史資料館来訪者減少に伴い、アンケート未実施。</p> <p>【R3年度】 ・過年度同様、良好な意見が多く、景観形成に寄与しているものと考えられる。</p>				<p>【H31年度】【R1年度】 ・幅広く多くの意見を得るため、各イベントでのアンケートや地域住民に特化したアンケート実施を行う。</p> <p>【R2年度】 ・未実施のため今後アンケートを引き続き行い、他事業と連携したアンケートを行えないか検討する。</p> <p>【R3年度】 ・事後評価実施年度において、目標達成できたものと評価している。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R4年度】 ・本事業は、整備完了及び目標達成できたものと評価している。 今後は、令和3年度策定の景観まちづくり計画により、魅力ある都市景観の形成に努める。</p>							